

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）			教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）			入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）		
<p>武庫川女子大学音楽学部応用音楽学科では、本学の定める修業年限以上在学し、所定の履修方法に従って124単位以上を修得し「MUKOGAWA COMPASS」に基づく次の資質・能力を身につけた者に対して、卒業を認定し学士（応用音楽）の学位を授与します。</p>			<p>武庫川女子大学音楽学部応用音楽学科では、本学科の定めるディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>音楽を演奏するだけでなく、医療・福祉・音楽マネージメント・音楽教育など様々な分野において活用し、音楽と社会をつなぐ専門家を育成するため、音楽に関わる分野を総合的に学習し、実践力を身につけることができる教育課程を編成します。基礎教育科目では、基本的な情報スキル科目と文献研究やコミュニケーションに必要な英語科目を設定し、また、広く社会の動静を知り、関心を高めるための科目履修を必須とします。専門教育科目では、ピアノ・声楽および実用的楽器の実技、合唱・合奏のアンサンブル技術やその指導法、また、医学や心理学・文化事業など音楽を活用していく上で必要な科目や実習関連科目を体系化しています。共通教育科目では、学科の基礎・専門教育科目に加えて、幅広い教養や汎用的知識・技能を修得できます。</p> <p>講義や演習科目の予習・復習をはじめ、実技科目では演奏技能向上に向けた自主練習を行うよう、また、日頃から演奏会の鑑賞などによって常に音楽に触れるよう指導します。評価については科目によって異なりますが、学期末試験および授業中の小テスト・レポートその他も含めた総合評価を取り入れ、特に実技においては複数の教員の総合評価の平均を評価点として公正を期します。</p> <p>1年次…音楽を応用活用していく上で基本であるピアノおよび声楽実技の基礎を学ぶと同時に、音楽の基礎であるソルフェージュや和声法、また音楽療法・音楽活用の導入教育を行います。</p> <p>2年次…実技科目を継続するほか指揮法、伴奏法など学びの幅を広げます。また、音楽療法・音楽活用についての理解を深めます。演習科目において音楽の専門的研究を深め、表現・活用するための論理的思考力・コミュニケーション能力の向上を図ります。</p> <p>3年次…音楽療法と音楽活用の各専修のゼミで、卒業論文に向けた調査・研究の基礎を固めます。上級学年となり、より発展的な講義・演習科目において、それぞれの専門領域に必要な知識・技能を深めます。</p> <p>4年次…音楽療法・音楽教育・生涯学習・音楽関連の文化事業などから研究テーマを各自で設定し、集大成としての卒業論文を執筆するための研究過程において、知識を深めます。</p> <p>教育課程全般を通じて、少人数の学科である特徴を活かした教育・指導を行い、学生の理解を高めます。</p> <p>卒業時に提出する卒業論文をもって、教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>			<p>武庫川女子大学音楽学部応用音楽学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受け入れます。</p>		
<p><b>武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目</b></p>			<p><b>MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目</b></p>			<p><b>武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素</b></p>		
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	音楽を通して人と社会に貢献するために必要な知識と技能、またデジタルスキルや語学を含む一般教養を活用する能力を有している。	知識	社会を理解し、音楽に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。		
	2	“生きること”につながる専門性	2	音楽知識と技能、ならびに音楽を活用するための幅広い分野の知識を有している。		音楽に関する基本的な知識と演奏技術を備え、高等学校等での各教科等における基礎学力を有している。		
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3	自らの存在に価値を見出し、また多様な人々を尊重する心と社会全般への興味・関心を持ち、音楽の在り方を考える姿勢を身につけている。	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。		
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	音楽を通して社会に貢献するために自らが進む道を開拓していく姿勢と、生涯にわたり研究と自己研鑽を続ける力を有している。		音楽と人間に関わる幅広い領域に興味関心を持ち、音楽を通して社会に寄与したいという熱意を有している。		
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	音楽を通して社会に関わる中で出会う逆境や困難を自己の成長へと転換できるしなやかな姿勢を有している。				
行動	6	論理的に考え伝える力	6	様々な情報を統合し、客観的に問題提起および音楽に基づく解決策を提案できる。	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。		
	7	新たな価値を創造する力	7	医療・福祉・教育・音楽産業をはじめ社会の各分野において求められていることを判断し、音楽を通して新たな価値を創出することができる。				
	8	多様な人々と協働する力	8	音楽と社会をつなぐ上でのコミュニケーション能力を有し、適切な倫理観のもとで、自らの役割を果たすことができる。		多様な人々と協同して学ぶ態度を備え、本学科での学修を通して得た知識や技能を活かした職業に就き、それぞれの分野において活躍し、社会に貢献したいという意志を持っている。		